

コース名	DX人材育成の進め方		
コース番号	24-16-12-126-026	受講料	3,300円(税込)
日程	令和6年11月28日(木)	時間	9:30~16:30
概要	自社内においてDXを推進するに当たり、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革する人材の育成方法を習得する。		
推奨対象者	中堅層、管理者層		
実施機関	株式会社 日本能率協会コンサルティング		
開催場所	北陸職業能力開発大学校(北陸ポリテクカレッジ) 2階 大会議室 〒937-0856 魚津市川縁1289-1 TEL 0765-24-2204		

カリキュラム内容(案)		時間
<p>■DXリテラシーと業務改革</p>	<p>1. DXとは何か DXとは、デジタルトランスフォーメーション(Digital Transformation)の略で、ビジネスや社会においてデジタル技術を活用し、新たな価値を生み出す取り組みのことを指すと言われています。しかし、DXが進まない理由として、具体的に「DXとは何か」ということがイメージしにくいことが挙げられます。まずは、DXによってビジネスがどのように変化するのかについて、明確にイメージできるように説明します。</p> <p>2. DXリテラシー標準 デジタル技術を活用した業務改革を進めるためには、全社員がDXリテラシーを習得する必要があります。DXを自分事として捉えるようになることを目標として、「DXの背景」、「DXで活用されるデータ・技術」、「データ・技術の利活用」のそれぞれについて説明します。</p> <p>3. 業務改革の成功事例・失敗事例 DXによる業務変革には組織文化の見直しが不可欠です。DXリテラシーが高い人材が組織に多数存在していても、組織文化がDXに適したものでなければ、ビジネスを進めることはできません。組織文化の変革には、トップダウンの方針決定や社員の参画などが必要となります。成功事例・失敗事例の双方からDX人材育成に求められる組織文化について説明します。</p>	2h
<p>■DX推進を担う人材</p>	<p>1. DXスキル標準 DX推進を担う人材に求められるスキル標準として、ビジネス知識、技術知識、コミュニケーション能力、問題解決能力、アジャイル思考などが挙げられます。それぞれのスキルが求められる理由と概要について説明します。</p> <p>2. DX人材活用事例 既存業務において評価の高い人材が必ずしもDX推進担当に向く人材とは言えません。どのようなプロセスを経てDX人材を発掘・育成していったのかについて、中小企業の事情に沿った事例をもとに紹介します。</p>	2h
<p>■DX人材の育成方法</p>	<p>1. DX推進プロセス DX推進のためには、ビジネスモデルと業務のそれぞれの側面からアプローチする必要があります。ビジネスモデル変革、業務変革に活用できる標準的なフレームワークについて、事例を用いながら説明します。</p> <p>2. DX推進プロセスを体験する【演習】 演習を通じて、ビジネスモデル変革から業務改革までのプロセスを体験してもらいます。その体験の中で、どのようなスキルが求められるのかについて、議論を通じて導き出します。</p>	2h
合計		6h

※上記内容は、諸般の事情で多少の追加や変更等がありますことを申し添えます。